

公益社団法人私立大学情報教育協会  
平成25年度第2回情報教育研究委員会議事記録

- I. 日 時：平成25年7月12日(金)午後2時30分～午後4時  
II. 場 所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）  
III. 参加者：向殿理事、村井委員長、斎藤副委員長、玉田委員、照屋委員、大場先生、大原アドバイザー  
事務局：井端事務局長、森下主幹、野本（記）

IV. 検討事項

1. フォーラム実施に向けて委員の意見

- ・ テーマについては「ソーシャルネットがつくりだす社会」ではどうか。
- ・ 若者が何に期待して社会にでるか、日本を背負っていくか見えない。
- ・ 大量生産時代から個別生産時代に移行し、製造業などで若者に元気がでる、希望が持てる社会の話ではどうか。
- ・ ソーシャル革命として取り上げてはどうか。
- ・ 対象は一般で特に大学生、高校生としている。情報に関心を持ってもらうこと、具体例を知りたいがっているのではないか。どのような利用があり、どのようなことなど具体例が提示されると興味がわくのではないか。発展についてを具体的に見せることで、だからこういうことが必要になるとしてはどうか。
- ・ 情報ネットとどのように付き合うのかの示唆が昨年度の取り組み、気づきを持ってもらうこと。
- ・ ソーシャルとしては「ゲーム」、「ニコニコ動画」、「食べログ」、「ライン」、「クックパッド」などが代表的ではないか。
- ・ 未来をつくる人間が出てきて欲しい。グローバルな視野が必要。地球の規模で活躍できる日本社会を考えていけないか。
- ・ ソーシャルネットをつくっているのはグローバルだが、閉じた社会になる可能性も危惧される。
- ・ テーマはソーシャルネットとしても、具体例がないと興味を示さない可能性がある。方向を決める必要があるのではないか。
- ・ 具体例から若者のなかで広げていけるものとして、例えば、ものづくり、音楽づくりなど。
- ・ 今の若者に発信できるものの想定
- ・ あまり知られていないがすごいことではどうか。例えば、ウェザーニュースなど。
- ・ さらに勉強するならここで学ぶこと、さらにこのような勉強をする必要があるなどのまとめをしてはどうか。
- ・ これだけは押さえておこう、これだけは知っておこうるソーシャル力の視点を入れてはどうか。
- ・ ソフト開発では何人が使うかのイメージを持って作成している、そのイメージを持てるのかどうか。
- ・ 講演メニュー案として「ニコニコ動画」、「ファブラボ」、「ウェザーニュース」、「食べログ」、「ライン」、「クックパッド」、「ソーシャルゲーム（パズドラ）」などの案から絞り込んで検討してはどうか。

2. 今後のスケジュール

- ・ 開催予定、テーマ、参加有識者について継続検討することにして、日程はNetで調整する。